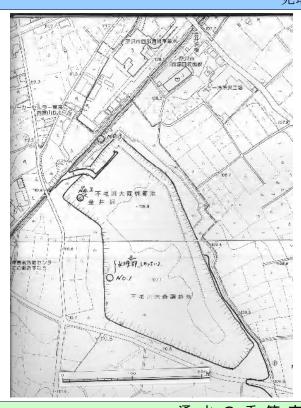
湧水No.	1		所在地	大森の池	西南部								
湧水のタイプ 伏流		伏流			標高	WL (r	n)	107m					
湧水の	湧水の利用 なし				周辺環境区分		分	農地					
護岸状況 (河川の場合) 池の掘削			土で盛土		地質		質	砂礫層(立川礫層)					
		現地写直			周辺環境など								

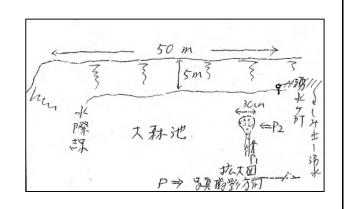


6/10 水面より20cm程度上の原地盤の砂礫層が湧水で抉られている。ヤマアカガエルの子供がいた。この地点から北へ10mほどの区間にほぼ同じレベルで連続して湧水の染み出しあり。

8/2 水は出ているがたまり水で湧水量の計測不能。 10/11 湧水量計測不能であるが濁り水が湧水によって 澄んでくる様子から湧水の存在を確認できる。表面流速 20cm/4sec。この湧水ポイントから50cm程度上がった堤 防法尻より湧水染み出しがあり、少なくとも大森池西側 と南側法尻全体に見られ、法尻と池水面の間の平場が湿 地状になっている。

見取図等





湧水の季節変化(簡易観測結果)

調査日	調査時間	天気	気温 (℃)	水温 (℃)	湧水量 (λ/分)	湧水の 状態	1週間前 降水量 (mm)	備考
6月10日	13時20分	曇り	24. 5	15	0.75		15	
8月2日	11時40分	晴れ	31	17. 5	_	たまり水	60	
10月11日	10時50分	曇り	20	17	_	かなりの量	357	大森池水面が上昇 し、湧水量計測不能

H16.6.10. 撮影





H16.10.11. 撮影





		723 734	<u> </u>			
湧水No.	2 所在	主地 大森池北	西角			
湧水のタイプ	伏流		標高 W	L (m)	108m	
湧水の利用	なし	周辺環境区分			農地	
護岸状況 (河川の場合)	池の掘削土で	盛土	地質		砂礫層(立川礫層)	
	現地写真		周辺環境など			



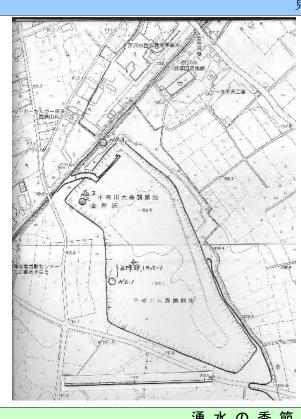
人頭大、拳大の礫が重なる。人工的に礫を敷き詰めたような感じ。

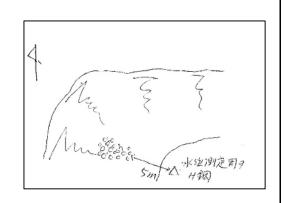
6/10 以前は音をたてて湧水が流出していたが、本日は水なし。

8/2も同様。

10/11 湧水の流れ幅は0.9m程度であるが拳大の礫が敷き詰められている為、場所によって流速は大きく変わる。よって、比較的等速で流れていると見られる真中部0.35m幅について計測。0.35m×0.03m×9m/分=0.095m³/分=951/分

見取図等





湧水の季節変化(簡易観測結果)

調査日	調査時間	天気	気温 (℃)	水温 (℃)	湧水量 (λ/分)	湧水の 状態	1週間前 降水量 (mm)	備考
6月10日	14時00分	曇り	26	_	0	なし	15	
8月2日	12時10分	晴れ	31	_	0	なし	60	
10月11日	11時20分	小雨	20	18	95+		357	堤防法尻付近からコ ンコンと湧水

H16.6.10. 撮影





H16.10.11. 撮影





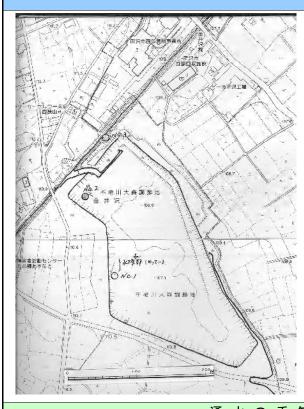
-									
	湧水No.	3		所在地	大森池北	:側 不老儿	川への排水	樋門外側	
I	湧水のタイプ		伏流			標高 W	/L (m)		
	湧水の利用		なし			周辺環	境区分	農地	
	護岸状況 (河川の場合)		_			地	質	砂礫層(立川礫層)	
			現地写真			周辺環境など			

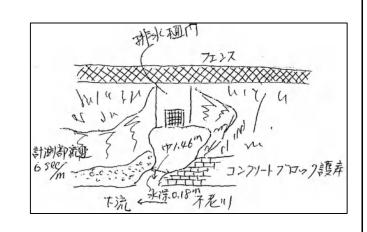


6/10 大森池への不老川の河川水の流入はないので、計 測した流量は大森池全体からの湧水量と判断される。

8/2 時点も同様。不老川にはメダカ、ヒメダカ、モツ ゴが群れをなしていた。モノアラガイ稚貝多数。ハグロトンボ、シオカラトンボ多数。 10/11 排水口の格子蓋の下部が押し開かれていた。

見取図等





湧水の季節変化(簡易観測結果)

調査日	調査時間	天気	気温 (℃)	水温 (℃)	湧水量 (λ/分)	湧水の 状態	1週間前 降水量 (mm)	備考
6月10日	14時30分	曇り	26	20	2600 ^{**}	_	15	※参考までに流量を計測 1.46m×0.18m×6sec/m
8月2日	10時40分	晴れ	30. 2	23	600**	_	60	※参考までに流量を計測 1.7m×0.17m×27sec/m
10月11日	11時50分	小雨	20	18	18000 ^{**}	_	357	※参考までに流量を計測 2.5m×0.6m×5sec/m

H16.6.10. 撮影



H16.8.2. 撮影





H16.10.11. 撮影









上流 流入口堰

湧水No.	4		所在地	不老川本流、藤沢13号橋下流左岸									
湧水のタイプ		伏流			標高W	L (m)	94m						
湧水	湧水の利用		なし			境区分	農地、住宅地						
護岸状況 (河川の場合)		2面護岸	底質は礫と泥		地質		砂礫層(立川礫層)						
					国冲型法头形								



周辺環境など

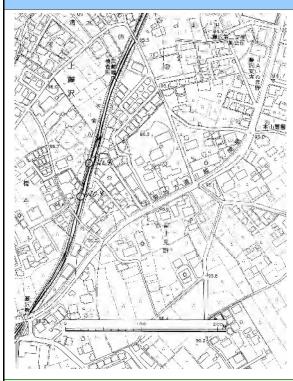
藤沢13号橋下流左岸100m程の区間に蛇篭護岸を挟んで長さ30m及び50m程のコンクリートブロック護岸があり、その最下段ブロック割れ目、打ち継ぎ目から湧水していた。下流側の方が湧水量は多かった。右岸も同じ護岸の構造であるが、湧水は左岸のみであった。護岸フーチングの下は侵食されて空洞になっている。

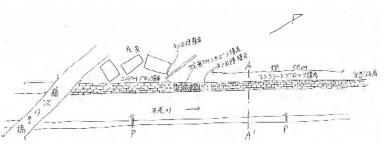
6/10 通常夏には湧水しているが、今回はなし。

8/2 台風10号一過後にも拘らず湧水なし。

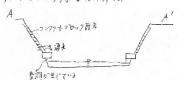
10/11 上流ブロック護岸 藤沢13号橋下流10m地点から3m程度の間隔で4ケ所から湧水。下流ブロック護岸真中辺で3m程度の間隔で13ケ所から湧水。いずれも最下段とその上のブロックの上部継ぎ目より湧水。但し最下段ブロック上部継ぎ目からのものが圧倒的に多い。全部合計すると100λ/分程度か?

見取図等





蘇沢13号橋下流 み寿 の 30m~50mの2ラウトのコンフリートブロック護参考下段 附近のファロック割水目(打な縦ぎ目)から落水1ていた。 下流側のコンフタートブロック題者が3の落水の「上流の落水もり多かった、 羅寿の形状は左右周寿とも全く同いであるので3米は五寿却のみ



湧水の季節変化(簡易観測結果)

調査日	調査時間	天気	気温 (℃)	水温 (℃)	湧水量 (λ/分)	湧水の 状態	1週間前 降水量 (mm)	備考
6月10日	15時00分	曇り	26	_	0	なし	15	
8月2日	10時00分	晴れ	30	_	0	なし	60	台風10号一過後
10月11日	10時00分	小雨	25	18	8.6**	多数	357	※最大湧水地点の計測 値

※湧水の状態:しみ出し、伏流、水溜り、その他(状態を備考欄へ)に区分 湧水量が測れない場合は、多い:+++、普通:++、少ない:+ に区分

H16.6.10. 撮影



H16.8.2. 撮影



H16.10.11. 撮影













湧水No.	5		所在地	不老川本	流 明の沢	!橋上流左岸	171						
湧水のタイプ		伏流	流			L (m)	90m						
湧水の利用		なし			周辺環	境区分	住宅地						
護岸状況 (河川の場合)		2面護岸	2面護岸 底質は礫と泥			質	砂礫層(立川礫層)						
		現地写真			周辺環境など								

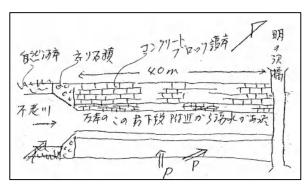


左岸コンクリートブロック護岸の下段の割れ目、打ち継ぎ目より湧水があったが、

- 6/10時点では認められなかった。西側に近接している下末吉台地の崖下にもかって湧水が見られたが、マンション建設後枯渇して今は見られない。
- 8/2の台風一過後の計測でも湧水はなかった。
- 10/11 左岸コンクリートブロック護岸上流端より4m程度下流のコンクリートフーチングと護岸ブロックの継ぎ目から湧水。これより下流ではフーチング上まで冠水していて、確認出来ず。

見取図等





湧水の季節変化(簡易観測結果)

調査日	調査時間	天気	気温 (℃)	水温 (℃)	湧水量 (λ/分)	湧水の 状態	1週間前 降水量 (mm)	備考
6月10日	15時30分	曇り	26	_	0	なし	15	
8月2日	9時45分	晴れ	29	_	0	なし	60	台風一過後
10月11日	9時35分	小雨	18	18	_	チョロチョロ	357	流水が湧水点スレスレ に冠水。計測不能。

※湧水の状態:しみ出し、伏流、水溜り、その他(状態を備考欄へ)に区分 湧水量が測れない場合は、多い:+++、普通:++、少ない:+ に区分

H16.6.10. 撮影







H16.8.2. 撮影



H16.10.11. 撮影



